

ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

福祉タイムズ



ともしび運動

4

2009 No.689



〈写真・菊地信夫〉

ご近所力を高めるために！

ボランティアグループ「すずの会」の代表をつとめる鈴木恵子さん（62歳・写真中央）は、30代後半から10年近く両親の介護と子育てを一人で続けていた。当時は、まだ介護保険制度もなく、介護に関する情報が少なく苦労を重ねたが、そのとき鈴木さんを支えてくれたのは、近所の人やPTAの仲間など地域の人たちだった。『「ちょっと助けて」って声をかけると、すっ飛んできてくれました』と振り返る。

その後、両親を看取った鈴木さんにPTAの仲間から「これからあなたみたいに介護する人が増えてくる。身近なところで支えあえるグループを作らない？」と声があがった。「ご近所の人たちの支え合いに助けられたこの経験を地域のなかで活かそう」。「困ったときに鈴を鳴らしてね」と思いをこめ、平成7年9月に「すずの会」を設立した。

以来、近所の小さな眩きを形にするために、できることを活動に繋げてきた。「ミニデイサービス」をはじめ、どれも鈴木さん自身の介護経験がもとになった活動だ。

「さりげない近所のお付き合いの中から、少しずつ築き上げられた信頼関係が、ご近所での繋がりの輪となり、何かあったときにはご近所で助け合える関係になっていくんです。今後も困った人たちの夢をかなえるための活動を行っていきたい」と笑顔で語る。

◇ボランティアグループ「すずの会」 <http://suzunokai.com/>

CONTENTS

特集

平成21年度県社協事業計画・予算 …… 2

NEWS&TOPICS

アデクションセミナーほか …… 4

福祉人材確保定着・最前線 …… 5

でかけてみませんか …… 6

連載

子どもたちがのびのびと育つために―第1回― 8

県社協のひろば

職場での「モラル・ハラスメント」への取り組みを学ぶ …… 10

かながわHOT情報

音楽ボランティア 一座にし(横浜市西区) …… 12

公私協働による 福祉コミュニティづくりを目指して

～平成21年度県社協事業計画・予算～

特集

去る三月二十五日に開催した評議員会において、平成二十一年度の本会事業計画・予算が決定しました。平成二十一年度は、本会活動推進計画の第四年次にあたります。活動推進計画中間年たる昨年度に策定時よりの事業の進捗状況、及びニーズの変化、社会情勢や国、県施策の動向を踏まえ、今後二カ年の目標、及び取り組むべき事業について見直しを行いました。その結果に基づき、福祉人材の確保・定着等の喫緊の課題への対応をはじめ、福祉サービスの質の向上や県民の福祉意識醸成に向けた取り組みなどを通し、計画目標である「一人ひとりの主体的参加による公私協働の福祉コミュニティづくり」に向けて、会員はじめ関係機関と一層連携を深めながら取り組んでまいります。

だれもが参加でき、ともに支え合う機会づくり

幅広い層の県民への地域福祉についての意識啓発や、ボランティアや当事者等、市民活動への支援を通して、地域に暮らす一人ひとりの積極的な参加と協働によるコミュニティ形成を促進します。

○多様な人たちとの出会いや、交流を通して地域住民や関係者が連携を深め、身近な地域福祉推進拠点として「ともしびショップ」が活用されるよう支援を行います。
○ともしび運動の具現化を担うボランティア・市民活動に対して、情報提供や学習機会の提供を図るとともに、ともしび基金等を活用して助成を行います。

○当事者が自らの持っている力に気づいて行く場、当事者が安心していられる居場所としてのセルフヘルプグループに対し、相談や情報提供などの支援を行います。

○情報化社会における情報取得や発信等にハンディのある方への支援を関係機関・団体と協働で進めることにより、地域における自立や社会参加を促進します。

○高齢者が健康で生き生きと暮らせるよう、シニア層の生きがいづくりを支援します。

生活圏域を基盤とする地域福祉の推進

市町村社協や社会福祉法人・施設、団体・機関、民生委員児童委員や保護司など、関係者との協働により、日常生活圏域・市町村域・広

域、それぞれの圏域における地域福祉の推進を図ります。

○地域福祉推進におけるキーパーソンとして「地域福祉コーディネーター」が、実際の生活課題の解決に向け、日常生活圏域でのネットワーク構築への支援を行うとともに、市町村社協や行政等の協働による地域福祉の推進を図ります。

○市町村社協の組織・運営基盤の強化等に向けて支援を行います。
○社会福祉経営法人及び社会福祉施設、民生委員児童委員協議会、保護司会、市町村社協、各種団体等、本会の部会活動を通して、地域福祉の様々な課題の解決に向けて取り組みます。

平成21年度新規・重点事業（一部抜粋）

- ともしび基金による県民福祉活動への助成とその他の各種活動資金助成情報の提供
- 障害者の就労や社会参加・交流等の場である「ともしびショップ」への支援
- 「地域福祉コーディネーター」の地域定着等、地域福祉推進の基盤整備に関する取り組み
- 市町村社協の組織・運営基盤の強化に向けた支援
- 福祉施設等の経営に関する相談・助言
- 「福祉の仕事」イメージアップの推進
- 福祉人材現任者研修の充実
- 権利擁護に関する地域相談機関等支援事業の実施
- 日常生活自立支援事業の普及・啓発
- 本会事業評価システムによる事業の改善及び職員の意識改革

安心して生活できるためのサービスの確保

地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの質の向上、権利擁護や福祉人材養成等の取り組みを促進します。

○ 福祉人材の確保が重要課題となっている中で、福祉人材確保の厳しい現状を少しでも改善するため、若年層に対し福祉や介護の仕事への関心を高める広報・啓発の強化を図るとともに、福祉現場と県民との接点を広げる事業に部会・協議会や介護福祉士養成校など関係団体との連携を踏まえて取り組みます。

○ 福祉人材育成の支援として、職場において中核となる職員の育成を支援する研修を福祉現場の声を反映して強化します。

○ 社会福祉施設経営法人の経営基盤の強化に向けて、適正な運営と利用者へのサービス向上を図られるよう、相談事業や課題研修を行います。

○ 事業者自身によるサービスの質

の向上に向けた取り組みが促進されるようサービス利用者の意向把握する「福祉サービス利用者意向調査キット」の提供を行います。

○ 高齢者や障害者の権利擁護相談への適切・迅速な対応や弁護士等専門家派遣事業の実施により、地域主体の権利擁護ネットワーク形成を支援するとともに、日常生活自立支援事業の利用促進と適正な運営確保に向けた市町村支援に取り組みます。

○ 生活福祉資金、離職者支援資金、長期生活支援資金等による経済的自立への支援を行います。

○ 日常生活の自立支援に向け、利用者に適した自助具の相談・製作・助言等の支援を行います。

神奈川県社協の経営体制及び財政基盤の強化

○ 計画事業の着実な遂行に向けて、事業評価システムに基づき計画事業の進捗管理体制の整備を図るとともに、職員一人ひとりの目標による管理を意識した事業執行を行います。

（企画調整・情報提供担当）

平成21年度総合資金収支予算書（単位：千円）

会 計 単 位	前年度予算額	今年度予算額	増 減
一般会計	9,487,701	8,844,550	△643,151
公益事業特別会計	86,968	1,692,152	1,605,184
収益事業特別会計（事業収支）	31,012	27,409	△3,603
生活福祉資金特別会計	633,620	633,620	0
県単生活福祉資金特別会計	15,464	13,464	△2,000
生活福祉資金貸付事務費特別会計	106,696	103,813	△2,883
離職者支援資金特別会計	671,157	671,258	101
要保護世帯向長期生活支援資金特別会計	108,912	90,002	△18,910
合 計	11,141,530	12,076,268	943,738

「孤立」から抜け出そう

「第二十回アディクション・セミナー
in YOKOHAMA開催

「アディクション」とは、自分の中にある苦しい気持ちから逃れるために、アルコールや薬物、ギャンブルなどにのめり込んでしまう悪習慣のことです。

そうした状況に悩む人々の自助グループが、悩みを抱える一般の方向けにオープンな場で回復メッセージを伝えようと、去る三月一日、男女共同参画センター横浜を会場に標記セミナーが開催されました。



当日参加したグループは、アルコールや薬物依存、買い物依存、摂食障害など約二十。はじめに実行委員長の村田由夫さんが、「依存症の種類は違うかもしれないが、セミナー全体をひとつの自助グループとしてリラックスして話を聞いてほしい」と会場の緊張をほ

ぐした後、依存症の種類を問わず、いろいろな本人や家族の体験談が聞けるプログラムと、依存症ごとのグループミーティングが行われました。

本人の体験談では、「アディクションの種類はそれぞれだが、「孤立」という共通点は同じ」と、自分の本心を話せる仲間を見つかることの大切さを、実感を込めて話されていました。

前月号で紹介した村田さんの「同じ悩みを抱える仲間の言葉なら、ずっと耳に入っていく」という言葉のとおり、人間関係等に悩み依存症に陥った背景から、仲間に出会い回復を目指している現在までの経過を率直に語る当事者の姿に、しきりにうなずく参加者も多くみられました。

さまざまな依存症を持つ方が互いに理解を深め合い、一緒に悩みを解決しようという温かい雰囲気の中、セミナーは幕を閉じました。

(企画調整・情報提供担当)

※本紙平成二十一年三月号の十二面「かながわHOUT情報」にて、アディクション・セミナーの開催のきっかけ等を紹介しています。ぜひご参照ください。

萬谷児童福祉基金・支度金交付

県内の児童養護施設等や里親のもとで生活する児童の進学への支援にと、昨年度本会に創設された「萬谷児童福祉基金」による大学等入学支度金の交付児童の選考が行われ、今年度は十三名に交付することが決定いたしました。

本基金により児童の自立と夢を支えらるとともに、その未来を温かく見守り続けたいものです。

(ともに運動推進担当)

外部評価の結果を公表しました！

地域密着型サービス外部評価事業として、本年一月から二月にか

新しい介護福祉士・社会福祉士修学資金貸付制度が始まります！

国の平成20年度第二次補正の成立を受け、介護福祉士や社会福祉士への修学資金の対象枠、金額が改正されます。

新たな制度では（平成21年度入学者から）、月額30,000円と50,000円の2パターン。入学準備金200,000円、就職準備金200,000円を加算できる貸付制度となり、県内の社会福祉施設に5年以上介護職等所定の職務で勤務した場合には貸付金額の全額が返済免除となります。

各介護福祉士養成校を窓口に申込受付（人数と受付期間に限りあり）します。

(福祉人材無料職業紹介担当)

045-312-1121 (代)

平成20年度地域密着型サービス外部評価受審事業所

No.	事業所名	所在地
1	サードハウス 虹の我家	横浜市鶴見区
2	小規模多機能型居宅介護事業所 けやき	横浜市西区
3	日限山ホーム	横浜市港南区
4	グループホーム クロスハート金沢・横浜	横浜市金沢区
5	デイホーム東本郷	横浜市緑区
6	グループホーム 万寿の森	横浜市青葉区
7	ゼロケア栗平センター	川崎市麻生区
8	グループホーム 興寿苑	横須賀市

※No.1、2、5の事業所は、小規模多機能型居宅介護です。その他は、認知症高齢者グループホームです。評価結果は、本会ホームページ(www.knsyk.jp)、WAM-NET (www.wam.go.jp) 等で公表しています。なお、平成21年度の外部評価受審事業所募集のご案内については、内容が確定次第お知らせいたします。

けて訪問調査を実施した八事業所の評価結果を公表しました(表)。

(企画調整・情報提供担当)



福祉現場で大きな課題となつて
いる福祉人材の確保定着。今号よ
り、さまざまな視点からこの問題
について取り上げていきます。

イメージが持てる経験が 福祉人材確保の鍵！

社会福祉施設等の人材確保
に関する需要調査まとまる

マスコミ等による福祉現場の3
Kイメージから、進路先や就業先
に福祉関係を選ばない傾向がある
といわれています。また、企業等
からの転職者が働いてみて戸惑う
声も聞かれることがあります。こ
のように福祉人材の確保の難しさ
に加えて定着の難しさがしばしば
指摘されています。

このような状況から、本会かな
がわ福祉人材センターでは、昨年
度に「社会福祉施設等の人材確保
に関する需要調査」(従来の基本調
査に加え、「今、福祉現場で働いて
いる人たちがどのようなきつかけ
でこの仕事を選んだのか」等の重
点調査で構成)を実施いたしました
た(平成二十年十二月時点。重点

調査は県内の特養ホームから二人
を抽出して調査)。今号では、こ
の主な調査結果をお知らせしま
す。

■社会福祉施設に対する基本調査

老人施設(老健施設含む)介護
職の有資格者の割合は、常勤職員
では九四%が介護福祉士やホーム
ヘルパー、介護職員基礎研修修了
者という結果に、一方、非常勤職
員では、八六・六%。パート職員
では七〇・九%という結果になり
ました。常勤、非常勤、パートを
合計するとホームヘルパー2級修
了者は四六・四%という結果にな
りました。

平均的な初任給については、大
卒の初任給では、十七万五千九百
七十一円(昨年度より七九八円減)
となりました。

■介護職員等への重点調査

現在の職場の状況として、「介
護方針や方法について相談できる
環境が整っている(六八・六%)」や
「介護マニュアル(五九%)、業務
マニュアル(五六・七%)が整備
されている」とし、「職場内のコ
ミュニケーションがとれている

(五四・八%)」となりました。

六五・二%の人が「今の職場を
辞めたいと強く思ったことがある」
とし、思いとどまらせたものは、
「家族(三四・一%)や同僚(三
一・二%)への相談」「利用者に
必要とされた(二四・六%)」と回
答しています。

また、介護・福祉に関心をもつ
たきっかけでは、「親族・知人が介
護・福祉の仕事をしていた(二一
・四%)」、「家族に要介護者が介
護した経験がある(十三・三%)」と
いう回答のほか、学校でのボラン
ティア体験も、小学校から大学ま
でそれぞれが十%を超え、福祉・
介護の仕事を具体的にイメージで
きる経験が福祉人材確保にとって
大切であることがうかがえる結果
となりました。

本会としてこの結果を各事業に
反映させていくほか、人材の確保
や定着しやすい職場づくりの支援
に役立てていきたいと考えていま
す。調査概要は、四月下旬頃、本
会ホームページで公開予定です。
(福祉人材無料職業紹介担当)

PORTSIDE for the best communication **35th Anniversary**
All-round Communicate
株式会社ポートサイド印刷
営業品目
●企画・デザイン・文字情報処理・印刷・製本
●ポスター・パンフレット・販促チラシ・D.M.・製品カタログ・会社案内・
定期刊行物・自費出版・カレンダー・各種ノベルティ
●データ処理・入力・データベース・ホームページ・クロスメディア活用 他
営業本部・工場
〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町16-2
Tel.045-776-2671(代) Fax.045-776-2678
<http://www.portside.co.jp>

神奈川県福祉研究会
(税務・会計の専門家グループ)
理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)
同 桑江 郁男(☎045-402-4433)
同 辻村 祥造(☎045-311-5162)
同 西迫 一郎(☎046-221-1328)
同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)
代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

一般家庭から大型ビルまで
最新のエレクトロ技術により
安心と安全を提供します。
京浜警備保障株式会社
代表取締役社長 **岡本 誠一郎**
本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX (045)441-1527

みなとみらい線で行く 元町散歩（横浜市中区）

今年も春がめぐってきました。ぽかぽか陽気のなか、子どもといっしょに散歩にでかけませんか。

今回は「みなとみらい線 元町・中華街駅」で下車し、元町ショッピングストリートを一とまわり。お買い物も楽しみましょう。

お得な割引きっぷで元町・中華街へ

みなとみらい線は横浜駅でJR線、東急線、京急線、相鉄線、横浜市営地下鉄線と連絡しています。東急線や京急線では「往復乗車券」と「みなとみらい線1日乗り放題券」などをセットにした割引連絡きっぷを発売しており、利用する際は各線の乗車駅でチェックするとお得です。

さて、元町・中華街駅で下車したら、元町ショッピングストリートへは5番出口の「元町口」を目指しましょう。B4階にあるホームと、1階の改札口はエレベーターで結ばれ、また、1階改札内には多機能トイレが備えられているので、ベビーカーでも車椅子でも安心して利用できます。



入口ではフェニックスアーチがお出迎え

魅力的なお店をのぞきながらお散歩

駅を出て左方向に進むと、すぐに元町ショッピングストリアの入口です。元町通りを中心に連なる石畳の美しい通りにはファッション、雑貨、家具、キッチン用品、輸入食料品などの専門店が並び、どのお店もちょっと寄ってみたくなる魅力があふれています。

赤ちゃん連れにおすすめの店は「タオルサロンカラカラ」。カラフルなタオル地のスタイやベビーウェアなどがそろい、そのやわらかい肌ざわりに赤ちゃんは大喜びでしょう。名入れのサービスをしており、ギフトにも喜ばれそうで

今月は ⇒ NPO法人

ままとんきっず がお伝えします！

1993年、子育て中のおかあさんが集まり、子育てタウン情報誌「ままとんきっず」を発行。子育てに関するメール相談、親子が集うサロン運営、各種講座の開催など、子育て支援活動を展開。15周年を迎えた昨年2008年、「第2回かながわ子ども・子育て支援大賞」を受賞。情報誌・単行本の発行物は30冊を数え、一部は海外でも翻訳出版。最新刊はみんなのエッセイや詩で作った「ままとんきっず Only One」。

〈連絡先〉川崎市多摩区菅田堤3-5-43

TEL/FAX: 044-945-8662

す。また、天然コットン100%の布雑貨店「飛行船 元町店」もおむつカバー、スモック、母子健康手帳カバーなど、赤ちゃん向けの商品がいっぱい。やさしい色づかいと手作りのデザインに心があたたまります。

赤ちゃん連れも安心して過ごせる元町

元町通りは両側に幅広の歩道が続き、エリアごとにベンチが設けられているなど、訪れる人にやさしい街並みになっています。さらに土日曜・祝日12～18時には歩行者天国が実施され、赤ちゃん連れの利便性を考えた授乳・オムツ替え専用車両「ポベッツタウン号」が登場します。授乳室2室とオムツ替え2ベッドを備えたバス車両で、赤ちゃん連れはだれでも無料で利用でき、育児アドバイス専用スタッフも常駐しています。日によって駐車場所が変わるので、協同組合元町SS会ホームページにてスケジュールを確認してからでかけましょう。



利用者が絶えないポベッツタウン号

インフォメーション

協同組合元町SS会（元町ショッピングストリート）

電話 045-641-1557（受付時間10:00～18:00）

ホームページ <http://www.motomachi.or.jp>

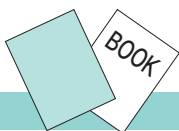
タオルサロンカラカラ 横浜元町店

電話 045-640-1513

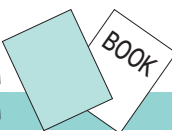
飛行船 元町店

電話 045-641-2751

◆ご意見・ご感想はkikaku@knsyk.jpまでお寄せください。



今月の福祉資料室



「福祉資料室」をご利用下さい！

◆利用時間：月～金（第3金曜日、祝日、年末年始等を除く）の9時～17時

◆問合せ：☎045-311-8865

図書

★高齢者は社会的弱者なのか？今こそ求められる「老いのプラン」（袖井孝子著、ミネルヴァ書房）

★子どもにやさしい学校〜インクルーシブ教育をめざして（乾美紀・中村安秀編著、ミネルヴァ書房）

★認知症論集〜介護現場の深みから（三好春樹著、雲母書房）

★介護の星・熱闘編〜マンガでわかるみんなが元気になる介護の基本（三好春樹監修、法研）

★支援困難ケアマネジメント事例集（野中猛監修、日総研）

★発達障害のある子どもがすくすく育つ保育〜保育園・幼稚園で楽しく遊ぼう（松山郁夫著、中央法規）

★精神科の薬がわかる本（姫井昭男著、医学書院）

★平成21年版社会福祉便利事典（週刊社会福祉編集部編、法研）
★現場がつくる新しい社会福祉（総合社会福祉研究所編、かもがわ出版）

資料

★平成20年度神奈川の特別支援教育資料（神奈川県教育局子ども教育支援課）

★今こそ老人福祉の再生を〜介護崩壊の危機を憂える現場からの検証（21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連合会）

★事業概要 平成20年版（横浜市総合リハビリテーションセンター・障害者支援施設）

※約5万2千冊が検索できる蔵書検索もご利用ください！
<http://www.knsyok.jp/tosyo/tosyo.html>

福祉情報資料室 利用のご案内

（福）神奈川県社会福祉協議会の福祉情報資料室は、どなたでも気軽にご利用できる福祉の専門図書館です。社会福祉従事者や一般の方々に、社会福祉の学習・研究・情報収集などに役立つ、専門図書・資料を提供しています。皆様のご来所をお待ちしております。

～このようなサービスが利用できます～

○蔵書の閲覧（一部図書を除き、館外貸出も可）

○文献リストの提供

○コピーサービス（有料）1枚20円

○所蔵文献のコンピュータ検索

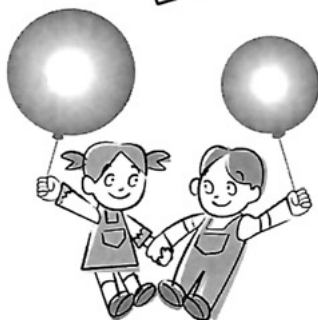
お求めの図書・資料を探すお手伝いをいたします。



安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症（日射病・熱射病）による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償（天災タイプ加入の場合）

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償！

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償！

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故等によるケガを補償！

保険料（掛金） Aプラン...260円 Bプラン...420円 Cプラン...590円
天災危険補償タイプもあります。

※各プランの保険金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご覧ください。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

<http://www.fukushihoken.co.jp>

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

子どもの声を聴き、

心に寄り添って子どもを受けとめる

よこはまチャイルドライン

少子化や核家族化の進行、社会経済の激動や人々の価値観の多様化、都市化による地域社会における人間関係の希薄化などにより、子どもの育ち、子育てをめぐる環境は厳しさを増し、すべての子ども、子育て家庭を視野においた「社会全体での子育て・子育て支援」の重要性が高まっています。

本年度の連載では、子どもたちがのびのびと育つために、地域で様々に展開されている子どもや子育て家庭を支える取組みを追いながら、子育て・子育て支援のあり方を考えます。

子どもの「心」を聴く

チャイルドラインは、子どもが誰かと話したいとき、どんなことにも耳を傾ける十八歳までの子ども専用電話です。

よこはまチャイルドラインは平成十四年五月にスタートし、平成十九年度には年間七千件を超える「子どもの声」を受け止めてきました。

主な電話の内容は、性の悩みや心の不安、友達との関わり方やいじめなどで、親や先生、友達には話せないこと、相談できない悩み

をひとりぼっちで抱え込んでいる子どもの様子が浮かび上がってきます。

チャイルドラインでは、子どもの声をそのまま聴き、心に寄り添っていくことに徹しています。

「親には心配をかけたくないという子ども多い。ひたすら『聴く』ことで、子どもは思いのたけを話して心を軽くし、受け止めてもらったと実感したら、自分で元気を取り戻していく」と子どもをありのまま受け入れます。

消えた「ヨコ・ナナメの関係」

NPO法人よこはまチャイルドライン代表の徳丸のり子さんは、いまの子どもたちは「自己肯定感」が非常に低いと感じられること、その背景には、社会が経済性や効率性、便利さを優先した結果、人づきあいが面倒なもの、無駄なものとして省かれていき、子どもの周囲から、「地域社会の大人」が消えてしまい、親と先生しかいないという状況があると指摘します。

「子どもにとって親や先生は『垂直(タテ)の関係』で、親や先生からの期待で子どもには常にもつと頑張らねばと圧力がかかってし

まう。一方、近所のおじさんおばさんは、そんなこととは無関係で子どもに関われる『ヨコ・ナナメの関係』の存在。親や先生には言えない気持ちを聴き、子どもをありのままに受け入れてくれる大人も子どもの周りは必要。子どもが健全に育つには、タテとヨコ・ナナメ両方の関係とが大事なのに、人間関係の希薄化が進みそのバランスが崩れてしまった」と話します。

子どもの育ちにたくさんの大人が関わること

「子どもの育ちにたくさんの大人が関わることをどう取り戻す

よこはまチャイルドライン

18さいまでのみなさんがだれかに話を聞いてもらいたいときにかけると便利です。
どんなことでもいいよ、はなしてね！ 楽てるね！

0120-7-26266
0120-99-7777
毎週月・木曜日 午後4:00~8:00
チャイルドラインはフリーダイヤルになりました。
やくそく

- ・ ひみつはぜったいだれにも、もらさないよ
- ・ なまえはいわなくていいよ
- ・ いやだとおもったらでんわをきっていいよ
- ・ どんなことでもいいつしよにかんがえるよ



大人の皆様へ お知らせ / これまでのあゆみ / 会員登録 / 受け手の声 / 相談員WITH YOU / 受け手募集のお知らせ

Copyright©2004 Yokohama ChildLine All Rights Reserved.

更新情報

何人が電話してきたの？
(3/12/2009)
受け手募集のお知らせ
(3/12/2009)

<メニュー>

チャイルドラインってなに？
どんなお話しでもいいの？
どんな人が電話に出るの？
何人が電話してきたの？
QOくんのつぶやき
リンク

「よこはまチャイルドライン」ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/yokohama-childline/>

海外研修から学んだこと

社会福祉法人 育秀会
栄光愛児園
副園長 吉岡 桂子



昨年、県社協主催の海外研修で、ドイツとオーストリアを訪問しました。

個人的な旅行と違い、10日間も知らない人達と過ごすことが出来るのかと不安を抱えての出発でした。

初めて会ったとき、性別、年齢差もバラバラな人の会話の話題は、食事のことが多いかと思えます。私たち14名も同じでした。

最初にドイツに降り立ったときに出た強烈なボリュームの肉、じゃが芋に、皆で笑いしか出ず、すっかり打ち解けた気がしました。それからは、バスの中で車窓からの素晴らしい風景を眺めながら、各施設の給食や様子をお互いに話したりと、以前から知り合いだったように楽しく過ごしました。

しかし、それぞれの専門分野の施設見学になると、真摯に取り組み、真剣にメモをとったり、質疑応答も盛んに行ったりしました。そんな皆さんの姿に福祉に携わる意識の濃さを実感し、私自身も高められた気がしました。

ドイツの保育は、保護者の支援を重視した考え方でした。日本の保育も同じように、とかく孤立しやすい子育て中の母親を支援していくことは必要不可欠なのかもしれません。

現代の世の中は、コミュニケーションが上手く行かず、ストレスを抱えることが多くなりました。

今回の研修では、人と人が楽しく触れ合え、悩みごとを相談することで和むこともありました。今もお付き合いできるのは、異国の地で新鮮な気持ちで初めての人と触れ合えたからかもしれません。

か。子どもたちにとって、ありのままを受け入れてくれる「ヨコ・ナナメの関係」が地域社会から失われたのであればつくるしかない——チャイルドラインの活動はそのことの実現を目指しています。

徳丸さんは、子どもをめぐる問題を大人が自分の子ども時代を基準に考えてはいけないと警鐘を鳴らします。「いま子どもを取り巻く環境は激変している。ピントはずれな支援は子どもにとって迷惑になるだけ。なぜ不登校になるの

子どもの問題は即ち大人・社会の問題

か、ストレスになるのかの原因究明には子どもの話を聴くしかありません。まずは子どもの実情を知ること、そして俯瞰的に様々な視点から考えていくことが必要」と話します。

もにとっては『殴られる』ことが普通になってしまふ。親も子も孤立させないためにどうやっていくかを考えていかななくては」と、親への関わり、親育ちの支援の大事さにも触れます。

子どもを育てることは次の世代の社会を創ることでもあります。

「社会のひずみは弱い存在である子どもたちに押し寄せている。子どもの問題を突き詰めていけば結局は大人がどう考えるかということになる。子どもの育ちは社会全

体の責任だと大人が自覚しなければ社会は変わっていかない」と子どもをめぐる問題に社会全体で取り組んでいく必要性を強く発信します。



次号からは地域での様々な子育て・子育て支援の活動を取り上げながら、社会全体での子ども・子育て家庭支援を考えていきます。

(企画調整・情報提供担当)

職場での「モラル・ハラスメント」への取り組みを学ぶ

去る二月二十六日、法人理事長施設長等を対象に「法人施設マネジメント」研修を開催しました。

この研修は、法人・施設のマネジメント意識を深く醸成する機会として毎年実施しているもので、今回は、福祉現場での喫緊の課題である人材定着・離職防止を視点に、「職場での『モラル・ハラスメント（以下、モラハラ）』への取り組み」をテーマに行いました。

「モラハラ」は、「言葉や態度により精神的苦痛等を与えること等」と定義づけられ、「セクシャルハラスメント（性的嫌がらせ）」「パワーハラスメント（職権による嫌がらせ）」に並び注目されている人事リスクとされています。

講師の石井亘氏（株）フォーカスマネジメント）は、このモラハラを「加害者の性格上特性による」「静かに、陰湿に繰り返される」「周りから些細にも思える行為」と付け加え、職場がモラハラへの関心を持ち、放置しない職場風土を作っていくことが対策として必要であること話しました。

前半は、これらハラスメントの増加の背景として、職場内のコミュニケーション不足・ストレスの蔓延等を挙げ、対策を放置すると、作業能力の低下・メンタルヘルスの悪化による離職の増加・法的責任まで及ぶ事象が起こる可能性がある」と説明しました。

後半は、モラハラに負けない職場作りには「組織の上層部が中心となりより良い職場風土を作るよう地道に動く」「管理者と職員双方の研修・教育を行う」こと、そして根本対策は職場全体のストレス退治であるとし、「ハラスメントコントロールには、ストレスコントロールが必要」とまとめました。モラハラは、被害者にとつての様々な負の経験が条件づけとなり、身体反応、心身症状、精神疾患へと辿り離職に至る危険性があります。受講後アンケートからは、ストレスの早期発見、防止措置や支援体制作りが重要であることを認識できた一方で、ストレスを抱える要因が各個人の問題に起因するのか、組織対応で改善できるのかの見極めが難しいという意見も多く寄せられ、大変デリケートな課題であることが垣間見れました。

平成二十一年度より「研修カリキュラム」が変わります

福祉人材研修担当では、福祉施設従事者等向けの研修を実施しておりますが、各種アンケート等からの意見や福祉現場の実情を踏まえ、平成二十一年度より研修カリキュラムを一新いたします。

新任・中堅層向け研修内容を大きく変更し、職種や施設を越えての学びの場として、実務に結びつけるための様々なヒントを得ていただくと思います。

各研修の開催時期等の詳細については、開催月の一

二ヶ月前を目安にご案内できるような準備をしていきたいと考えています。

郵送等のご案内の他、直接お問い合わせいただくか、本会ホームページでも最新情報を掲載してまいりますのでご利用ください。

<http://www.knsy.jp>

（福祉人材研修担当）

研修実施予定一覧

区分	研修名	対象の目安	実施時期※1
概論	概論(意欲向上)研修(フレッシュマン編)	新卒/新採用者	5月7日
	〃 (基礎編)	3年未満程度	5月14日
	〃 (実践編)	5年未満程度	6月
	〃 (ステップアップ編)	5年以上程度	6月
サービス向上	サービス力向上研修(基礎編)※2	2年目程度	6～7月⇒12月
	〃 (実践編)※2	3年目以降程度	6～7月⇒12月
	〃 (ステップアップ編)※2	5年目以降程度	7～8月⇒1月
	テーマ別研修(基礎編)①		5月
テーマ別	〃 ②	2年目程度	5月
	〃 ③		6月
	テーマ別研修(実践編)①		6月
	〃 ②	3年目以降程度	6月
	〃 ③		7月
	テーマ別研修(ステップアップ編)①		7月
	〃 ②	5年目以降程度	7月
	〃 ③		8月
分野別	スキル基本研修(介護系)	介護職員(未経験/新任者)	5月
	スキル向上研修(介護系)	介護職員(2年目程度)	9～10月
	〃 (相談系)	相談職員(2年目程度)	9～10月
	〃 (ステップアップ編)	スキル向上研修受講者か、その内容に準じる実務経験のある方	12～1月
組織内リーダー育成	職場内研修担当者研修※2	職場内での研修担当者	9～10月⇒1月
	サービス提供責任者現任研修	サービス提供者の現任者	9～11月
	リーダー研修	リーダー的役割のある方	①9月/②11月
課題別	法人・施設マネジメント研修Ⅰ	施設の施設長・幹部等	12月
	〃 Ⅱ	法人の理事、理事長等	1月
準備講習会	緊急課題対応研修	福祉関係者全般	(未定)
	ケアマネ実務研修受講試験準備講習会		7～9月
	介護福祉士資格取得準備講習会(筆記)	試験受験予定者	9～10月

※1) 実施時期は予定です。変更する可能性もあります。ご了承ください。

※2) 時期をあけてフォローアップ研修を実施する予定です。

役員会の動き

◇理事会 3月18日(水) ①平成20年度一般会計補正予算(案) ②本会事務局職員就業規程の一部を改正する規程(案) ③本会事務局職員の給料月額の特例に関する規程の一部を改正する規程(案) ④本会職員給与規程の一部を改正する規程(案) ⑤平成21年度県社協会員会費(案) ⑥平成21年度県社協事業計画並びに収入支出予算(案)

日揮社会福祉財団 助成団体募集

◇対象 県内の①障害者及び高齢者福祉支援事業団体等、②障害者及び高齢者福祉支援ボランティア組織等、③社会福祉活動団体及び組織等
◇内容・金額 ①(1)障害者及び高齢者用福祉機器の設備・購入費30万円限度(①は25団体、②は20団体)、(2)事業活動費及び事業運営経費補助30万円限度(同)、(3)事業活動費及び事業運営経費補助(同)、③は15団体
◇締切 平成21年5月31日必着
◇問合せ (財)日揮社会福祉財団
☎045-714-3391
FAX 045-714-3404

合同第54回身体障害者協力登山会

障害のある方々とボランティアの方と一緒に安全な登頂を目指します。
◇日時 5月24日(日)
◇場所 山中湖半「大平山」(標高一二九五・五m)

◇対象者 車いす使用の障害者の方・25名、車いすを使用しない身体障害者の方・25名、支援ボランティアの方200名

◇参加費 障害のある方・無料、一般・五千九百円、大・高生・三千円、中学生・千五百円、小学生・千円

◇締切 平成21年5月17日

◇問合せ 山岳集団ベルクラブ本部代表事務所(室井)
☎0465-23-0416

DV被害者自立支援「みずら」チャリティバザー

DV被害の実情と被害者の自立支援の必要性を広く市民に訴え、チャリティバザーを開催します。

◇内容 主なバザー品は日用雑貨、企業からの提供商品(当日来場先着100名に粗品を進呈)

◇日時 平成21年5月23日(土) 11時~13時30分

◇会場 かながわ県民センター・一階展示場(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)

◇バザーへの提供品 食器、衣類などの提供品は、みずらに宅急便か持ち込みで5月20日(水)必着

◇問合せ 特定非営利活動法人かながわ女のスベースみずら(横浜市神奈川区青木町2-1-1613)
☎045-451-3776

寄附金品ありがとございました

【一般寄託金】▽協隆志▽広瀬公子
【交通遺児援護基金】▽横浜ビルシステム(株)【子ども福祉基金】▽上智大学総合人間科学部社会福祉学科
【としび基金】▽神奈川県教職員組合▽(福)信和学園 しんわ本人自治会連合会▽(社)全日本不動産協会
神奈川県本部▽東江産業(株)▽富士シテイオ(株)FUI根岸橋店▽(社)不動産保証協会神奈川県本部▽横浜エクスセルホテル東急▽匿名希望

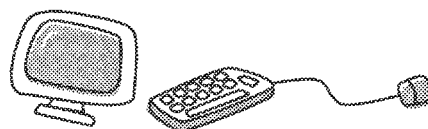
(計 一、二五二、〇五五円)

【寄付物品】▽神奈川県南県税事務所▽クラシエホールディングス(株)▽生活再建者の集い「たなからばたもち」▽(株)ツルハホールディングス▽としび製品展示コーナーOB会▽フリースペース「WHO IS HAPPY MAN?」(敬称略)



去る三月十六日、(株)ツルハホールディングス・クラシエホールディングス(株)より車いす十台の寄贈があり、ツルハグループの(株)リバース石川専務取締役より本会会長に目録が贈呈されました。

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷
株式会社 神奈川機関紙印刷所
〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1768 FAX045(780)1588
<http://www.kki.co.jp/>



音楽の楽しさを届けたい

音楽ボランティア

一座♪にし(横浜市西区)

時として、音楽を通じて聴く人の耳を楽しませると同時に心と身体に「癒し」の効果を与えてくれる音楽。

そんな音楽の持つパワーを充分に引き出すため、一方通行の自己満足的演奏にならないよう、多くの人に喜んでもらえる演奏、歌を心がけて訪問コンサートを中心に活動をしているのが、今回ご紹介する、音楽ボランティアグループ「一座♪にし」です。

楽しんでほしいことを一番に

平成十二年の設立以来、横浜市内を中心に県内各地の老人ホームや障害者施設、子どもの施設など社会福祉施設を中心に年間五十本以上の訪問コンサートを開催しています。

「音楽ボランティアは、歌唱力や楽器の技術があれば、だれでもできる」といったものではない。

『楽しんでもらいたい』という気持ちと聴いてくださる人たちとのコミュニケーションが大切」と話すのは、座長の有澤博さん。

事前に訪問する施設の利用者の好みの音楽や流行など、リサーチをしっかりと行い、施設ごとにコンサート内容の構成を考え、臨機応変に対応しています。

また、一方的に聞かせるのではなく、歌にまつわるエピソードを話したり、客席にマイクを向け、大きな字で書いた歌詞カードを用意して一緒に歌ったりと、楽しんでもらうための工夫が多くされています。そのため訪問コンサートの依頼もリピーターが多いそうです。

音楽ボランティア講座を開催

この他に「一座♪にし」では、「音楽ボランティア入門講座」の開催をしています。

音楽ボランティアをしてみたい

がどうしてもわからないのかわからない方に、ノウハワはもちろんですが、自己満足にならず、いかに相手に楽しんでもらうことが大切かという音楽ボランティアの理念を伝えることを重要視しています。

有澤さんは、今まで失敗もあったけれど、これまで続けてこれたのはメンバー同士の絆であるといえます。今後も絆を大切に「楽しんでもらう」を第一に活動を続けたいと話していました。

(企画調整・情報提供担当)



訪問コンサートの様子



音楽ボランティア 一座♪にし

横浜市西区中央1-4-4

TEL/FAX

045-3324-3350

<http://www.be.biglobe.ne.jp/~nish-hp/>

一社会福祉施設の設計監理一

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES'Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808
TEL03(3449)1771/FAX03(3449)1772
URL: www.yasue-sekkei.co.jp
E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



知的障害者通所授産施設(平塚市)



新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください